

# 令和7年度 第27回庁議要点記録

日 時：令和8年1月9日（金）午前9時～9時15分

場 所：庁議室

出席者：市長、橋本副市長、塩野目副市長、教育長、政策部長、公共施設マネジメント担当部長、総務部長、市民生活部長、健康部長、福祉部長、子ども家庭部長、まちづくり部長、建設環境部長、教育部長、政策経営課長、議会事務局長、秘書課長、会計管理者心得

議 題

○令和8年度予算内示について

○その他

橋本副市長： 令和7年度第27回庁議を開催します。本日の議題は、令和8年度予算内示について及びその他です。

令和8年度予算内示について、財政課長から説明をお願いします。

財政課長： 本日は内示のため、令和8年度一般会計当初予算収支状況については、現時点の数字です。1週間後の予算（案）確定までに数字が変動する可能性があります。

項番2、予算総額は項番1の経常的経費と政策的経費を合算したもので、歳入62,939,371千円に対し、歳出63,726,501千円となり、差引き787,130千円の財源不足が生じています。

この不足分については、公共施設整備基金の取崩し等で解消する予定であるため、財政調整基金を取崩すことなく、予算（案）を確定できると考えています。財源不足は解消できますが、公共基金の充当先を積み上げることなどにより、なんとか解消できている状況です。

続いて、2ページは令和8年度一般会計当初予算内示及び事項別明細書の点検依頼です。昨年までは事項別明細書を印刷し渡していましたが、今回からデータで確認をお願いします。データは、庁議後に掲示板で掲載予定です。

例年お願いしていますが、事項別明細書の予算額及び内示内訳、また、政策的経費事業一覧は、必ず複数人の目で見えて確認をお願いします。特に財源充当などは、必ず前年度と照らし合わせて確認してください。また、歳入の根拠法令等についても変更などがないか、再度確認するように重ねてお願いします。

確認票は1月13日午後5時までに、期限厳守で提出をお願いします。説明は以上です。

橋本副市長： 担当から説明がありました。御意見・御質問はありますか。政策部長、お願いします。

政策部長： 10月の予算説明会から本日まで、予算編成に協力いただきありがとうございました。財源不足は過去最高額でしたが、税連動交付金が上振れしたことなどで、なんとか財政調整基金を取崩すことなく予算編成できる見込みが立ちました。しかしながら、令和9年度以降には、リサイクルセンターの解体工事や整備、旧庁舎用地の利活用など、大きな事業が控えていますので、令和9年度はもっと厳しい状況になるかと思えます。

ちなみに、当市は経常収支比率が2年連続95.7%で、多摩26市の平均92.5%より高く、順位では21番目の水準です。このことから、令和9年度に向けて、今から経常的経費の削減、特に義務的経費の削減に向けた準備をお願いします。

橋本副市長： 政策部長からの補足のとおり、当初予算の不足は調整できましたが、公共基金を取崩した対応となり、財源が不足していることには変わりありませんので、そのことを十分認識し

てください。

また、予算編成については、10月から始めるのではなく、新年度が始まったらすぐ経常的経費や事務費の見直しを始めてください。なお、短い時間ですが、1月13日午後5時までには内容の点検をお願いします。本日の段階で御意見・御質問はありますか。

塩野目副市長： 人件費については、今一度、各部署で人の配置が適正にされているかを確認してください。政策部長ヒアリングで各課長に、それぞれの課で職員が適正に配置されているのか、その職員がどのような仕事をしているのか確認したのかと、厳しいことを言いました。各課長からは、確認しているというお話でしたが、毎年、単年度事業やレベルアップ事業で配置した職員をそのまま残して計上しているのが見受けられましたので、部長も含めて、会計年度任用職員も合わせた職員配置をもう一度見直してください。

毎年指摘しても、同じことが起こっています。このままでは、職員配置は各課に任せられなくなりますので、今一度、部長も課長も自分がその組織の経営者であるという意識を持って、取り組んでください。

橋本副市長： 塩野目副市長からも説明がありました。その点も含めて御意見・御質問はありますか。よろしいですか。なければ、本日の段階での予算内示とします。

その他各部からありますか。政策経営課長、お願いします。

政策経営課長： 令和8年度施政方針の原稿作成依頼です。資料2ページ、施政方針の骨子をお示ししていますが、令和8年度当初予算、第2次国分寺市総合ビジョンを踏まえた内容となるよう、各部で連携し原稿の作成をお願いします。

提出期限は1月16日までと短い期間ですが、お願いします。説明は以上です。

橋本副市長： 担当から説明がありました。御意見・御質問はありますか。よろしいですか。ほかに各部からありますか。なければ、最後に市長をお願いします。

市長： 予算編成について、各部署に協力いただき、ありがとうございました。また、取りまとめた財政課、政策経営課の皆さんもお疲れ様です。最後までもうひと踏ん張りですので、よろしくをお願いします。

今回は税連動交付金が思った以上に上振れした結果、財政調整基金の取崩しはないとのことですが、当市の市政は現段階で10億円程度の財源が不足しているという認識です。ここに我々がしっかりとメスを入れ、改善改革しなければ、今後の国分寺市政は、そう遠くないところで立ち行かなくなりますので、まず危機感をしっかり共有してください。

副市長からも話がありましたが、新年度が始まった時点で先ほどの総合調整を含め、1年掛けたプロジェクトとして、シート等を利用して各部署で経常的経費の見直しをお願いします。

540億円ある経常経費を、仮に3%削減すると約15億円になります。各事業によって性質がありますので、一律3%の削減は当然成り立たないにしても、皆さんの中に目途として持ち、各部署でどこまでの事ができるか、どういった仕事の仕方があるのかも含めて考えることにより、持続可能性につながってくると思います。特に部長に関しては、これまでも経営者目線の話がありましたが、より比重を全体的なところに、ある意味では副市長の視点を持ってもらい、それを課長以下にしっかり伝えて共有していくことがミッションですので、その点も改めてメッセージとして伝えておきます。

とにかく、今は変化の時です。これまでの国分寺は、これまでの努力があっただけで進んできていますが、フェーズが変わってきたことを改めて共有し、予算や決算の審査も、議会や市民に対しても、国分寺市政が次の段階に進むことを示さなければなりません。そういった審議をしていく必要があるため、先ほど財政課長からも説明がありましたが、数字や法律の条文が間違っているなど、正にミスという取るに足らないことに話が集約しないように、まず絶対に無くした上で、なぜこのような予算編成をしたのか、なぜこの事業を実施するのか、中身の議論を一步二歩三歩と進めていく。そこで堂々と我々の主張や、仕事というものを訴え、理解を求めていくことが必要ですので、改めて各部署で全ての数字や、法律の間違いが絶対にないか最終点検を行い、遺漏のな

いようにしてください。これは前提条件になります。

私自身はいずれにせよ、国分寺は人材も揃っていて、リソースもあって可能性もあるし、必ず更に伸びるまちであると思っています。

ここから数年が勝負ですし、方向性が決まりますので、皆さんと全力で当たっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。以上です。

橋本副市長： 以上で庁議を終了します。